

事務事業名		尚仁沢遊歩道修繕事業			<input checked="" type="checkbox"/> 事後(中間)評価対象事業			
総合計画	政策名	03 産業活性化に向けたまちづくり			所属課	産業振興課	担当	林務商工観光担当
	施策名	02 地域特性を生かした観光の推進			課長名	高橋 好雄	担当者名	軽部 健一
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業コード名	
		06	01	03			関係法令・条例等	
事業期間		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度)			<input type="checkbox"/> 期間限定 (年度～ 年度)			
事務事業の概要 (事務事業の内容を記載)		<p>1. 事務事業概要 ・平成24年5月2日～4日の豪雨により、尚仁沢湧水周辺の遊歩道の一部が崩落し、現在、仮設道により迂回している状況であることから、修繕事業の実施により遊歩道利用者の利便性向上を図る。</p> <p>2. 概算事業費 業務委託費(設計積算業務) 200,000円、修繕工事費1,000,000円、合計120万円 ※今年度、県では、地方自治法施行60周年記念貨幣の発行を予定しており、貨幣発行の実績に応じて、国から県に「地方分権振興交付金」が交付される。 県では、この交付金を、とちぎの魅力PRを目的に、市町が実施する「自然」、「文化」、「歴史」に関連する事業に対して、上限を100万円として配分する予定。</p>						

(1) 事務事業の目的と指標		(4) 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
① 活動の計画(活動の量・大きさ・規模等)	・遊歩道修繕事業	名称	単位
➡		ア 遊歩道修繕工事	件
② 対象(事業は誰・何を対象にしているのかを記載)	・遊歩道利用者	名称	単位
➡		ア 遊歩道年間利用者数	人
③ 目標(この事業によって、対象をどうしたいのかを記載)	・遊歩道利用者の事故発生の防止	名称	単位
➡		ア 年間事故発生件数	件

(2) 指標・総事業費の推移		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度 総合計画 最終年度
活動指標	ア	目標値	1					
	イ	実績値						
対象指標	ア	目標値	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
	イ	実績値						
成果指標	ア	目標値	0	0	0	0	0	0
	イ	実績値						

計画		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
事業費 投入量	国庫支出金	千円					
	県支出金	千円	1,000				
	地方債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円	200				
	事業費計(A)	千円	1,200	0	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	1				
	延べ業務時間	時間	30				
	人件費計(B)	千円	120	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,320	0	0	0	0

実績		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
事業費 投入量	国庫支出金	千円					
	県支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円					
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人					
	延べ業務時間	時間					
	人件費計(B)	千円	0	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	0	0	0

評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果
目的妥当性評価 ① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？	・町が整備、管理している遊歩道の修繕事業であり、公共の関与は妥当。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
有効性評価 ② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか？先延ばしにできない理由は何か？	・利用者の事故発生を未然に防止するためにも、早急な対応が必要。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
効率性評価 ③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？	・危険箇所のみへの対応とし、施設のグレードアップは考慮しない事業とする。	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
公平性評価 ④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？	・観光来町者の安全確保を目的としており、観光推進施策に整合している。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり

3 事前評価結果

事前評価日： 平成 24 年 7 月 3 日

(1) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 1次案のまま採択 <input checked="" type="checkbox"/> 下記条件で採択 <input type="checkbox"/> 不採択 <input type="checkbox"/> 差し戻し	
(2) 採択条件 設計費は計上しないこととし、工事請負費で105万円の予算とし、9月補正に計上する。	(3) 指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等) 工事完成後、現地調査を兼ねて事後評価を行う。 (意見) 遊歩道の崩壊等による利用者の事故が発生しないよう、平成25年度以降も修繕費を予算化し、不具合の箇所については速やかに修理すべきである。

4 成果検証

事後(中間)評価日： 平成 年 月 日

事務事業実施後の概要 (実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載)	
--	--

(1) 評価結果(今後の方向性) <input type="checkbox"/> 優(成果大) <input type="checkbox"/> 良(良好) <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可(成果なし・中止・計画変更必要)	
(2) 総評	(3) 指示事項 <input type="checkbox"/> 再評価対象事業